



しろうさぎ



S H I R O U S A G I

TAKE FREE

ご自由にお持ち帰りください



島大病院救急入口

Contents

特集 Special Issue

『島大病院 —救急診療の更なる充実—』

- 📎 ゴールデンアワーに懸ける、外傷治療のかなめ
高度外傷センター長 渡部 広明 教授
- 📎 24時間365日体制で、熱意を持って治療します
救命救急センター長 仁科 雅良 教授

- *病院探検隊！～内視鏡手術トレーニングセンター編～
- *病気のみめ知識～蚊にさされることで、うつる病気～
- *私のここだけの話
- *ニュース&トピックス
- *留学生の国自慢
- *イベントなどのお知らせ

救命救急センターと高度外傷センターの

受診の流れ

救命救急センター

急な頭痛、腸痛、腹痛、手足の麻痺や痺れ、
動悸、発熱、吐血、「ろれつ」が回らない、
意識不明 などの症状がある方

病状の自己等判断による受診 (夜間、休日等の時間外受診)

●受診に係る電話連絡

●紹介状なしの大病院受診時の定額負担(選定療養費等)が発生します。(5,400円)

高度外傷センター

交通事故や災害等により外傷を負い、
緊急治療(手術等)を必要とされる方

救急車、ドクターヘリや防災ヘリによるヘリコプター搬送

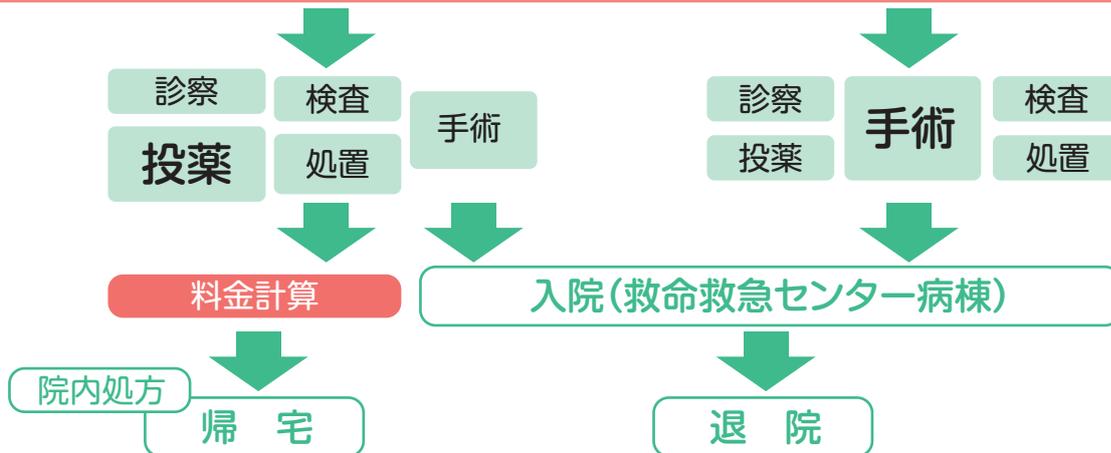
●患者さんやご家族、診療所医師等の判断によって救急車による救急搬送依頼

●消防救急隊の搬送時の状況判断によって搬送方法が選択されるケース

●紹介状なしの大病院受診時の定額負担(選定療養費等)は、発生しません。

●ドクターヘリの場合、一定の自己負担額が発生します。(基本13,000円)

救命救急センター時間外受付窓口で受診手続き



お問合せ先

■島根大学医学部附属病院 (0853)-23-2111(代表)

■救命救急センター (0853)-20-2152(直通)



「島大病院 – 救急診療の更なる充実 –」

「救急診療」と聞いてどのようなイメージをお持ちになるでしょうか？島大病院では、今年4月に「高度外傷センター」が設立され、救命救急センターと連携しながら、より効率的な救急診療が行えるようになりました。そこで、両センター長に詳しいお話を伺いました。

ゴールデンアワーに懸ける、外傷治療のかなめ

高度外傷センター長 わたなべ ひろあき **渡部 広明** 教授



Q 高度外傷センターとは、何をすることで
ろですか？

A 高度外傷センターは、救命救急センターに運ばれてくる患者さんのうち、主に交通事故や災害等で負傷して外科手術が必要な患者さん（以下、外傷患者さん）の治療をしています。

Q 高度外傷センターが作られたことで、
何が変わりましたか？

A 事故や災害で負傷してからの最初の1時間は患者さんの生死を分ける非常に重要な時間であり、「ゴールデンアワー」と呼ばれています。この時間に迅速かつ適切な治療を行える体制を整えたことで、より多くの外傷患者さんの命を救えるようになりました。

このセンターには外傷診療を専門とする医師が3名所属しており、今年4月に発足して以降、出雲地区だけでなく、大田・雲南・飯南各地区からも患者さんを受け入れています。

現在は救命救急センター内で治療を行っ

ていますが、来年5月には病院敷地内に独立した施設を開設予定です。

また、外傷患者さんの初期診療、検査、CT、外科手術、血管造影を一つの部屋で行える「ハイブリッド初療室」を国立大学病院で初めて導入する予定です。これにより、外傷患者さんを治療毎に別の病室に移動させる必要がなくなるため、患者さんの身体への負担が大幅に軽減されます。

大学病院ということで、私たちは将来の外傷専門医の育成にも力を注いでいます。今年1月に、全国で初めて医学生が外傷学を専門的に学ぶ講座（Acute Care Surgery 講座）を開設し、全国的にも注目を集めています。

Q 今後の展望は？

A 近隣他機関や病院内の各部署との円滑な協力体制を築きながら、より一層、外傷患者さんの効果的な救命救急措置を行っていきます。

24時間365日体制で、熱意を持って治療します



救命救急センター長 にしな まさよし 仁科 雅良 教授

Q 救命救急センターについて教えてください。

A 当院の救命救急センターは2012年10月に厚生労働省によって認可され、現在、4年目です。その間、非常に多くの救急患者さんを広範囲から受け入れてきました。例えば、県西部や隠岐から搬送されてくる患者さんもいらっしゃいます。

最近では、ドクターヘリや防災ヘリなどのヘリコプター搬送の件数も増加しています。

救命救急センターに運ばれた患者さんは、原則としてまずは救急専従医が診断します。そして、必要があれば、それぞれの診療科の専門医に相談し、診療を依頼しています。

Q 患者さんが搬送されてくるときは常に緊張感が張り詰めているイメージがあります。

A 「救急」という言葉から、患者さんが救急車やドクターヘリ等で運ばれてくることを真っ先にイメージされるかもしれませんが、もちろん、そのような重症患者さんの受け入れも行っていますが、それだけではなく、休日や夜間などの時間外の外来としての側面もあります。ですので、ご家族等に連れられて来院される患者さんもいらっしゃいます。

Q 「救命救急」で大事なことは何ですか？

A 何よりもまず、なんとしても患者さんを助けたいという熱意が必要です。

その上で、あらゆる状況に対応できる幅広い知識を備えたジェネラリストとしての素養、急を要する迅速な判断能力が求められます。

Q 今後の抱負は？

A 新しく設置された高度外傷センターや他の診療科と密接に連携して、あらゆる救急疾患に対応できる体制を取りつつ、24時間365日フル稼働で、地域の皆さんの健康維持に努めて参ります。



病院探検隊!

「内視鏡手術トレーニングセンター」編

今回の「病院探検隊!」は研修医や医学部生が内視鏡手術の腕を磨いている「内視鏡手術トレーニングセンター」を探検し、手術器具やシミュレータなどを使って内視鏡手術の様子を体験して頂きました。

案内役は、小児外科 仲田 惣一 助教、溝田 陽子 医科医員です。

1 内視鏡手術とは?



はじめに、溝田先生から内視鏡手術について説明がありました。

内視鏡手術は、お腹に数箇所小さな穴を開けて小型カメラでお腹の中を見ながら行う手術で、開腹手術に比べて患者さんの身体への負担が少ないのが特徴です。

2 内視鏡手術ではどんな器具を使うの?



これは、鉗子(かんし)と呼ばれる手術器具です。手術する部位のはく離や縫合などで活躍します。長さ、太さ、先端の形状など沢山の種類があり、用途に応じて使い分けています。

4 シミュレータを使って手術に挑戦



こちらは内視鏡手術を立体的なCGで体験できるシミュレータです。仲田先生の丁寧な指導を受けて、血管のはく離と切断に成功しました!

参加者

とても緊張感がありました。集中してやったので、終わった後に手が震えました。

3 左右の手で別々に操作するのって大変...



鉗子を使ってトレーニング開始。様々な図形をパズルのようにはめていきます。実際の手術ではお腹の中は直接見れないので、モニター画面を見ながら操作します。両手に持っている鉗子を使って、なんとか完成しました!

参加者

2本の鉗子を別々に操るだけでも難しいのに、モニターを見ながらとなると、本当に大変ですね。



次回の病院探検隊につきましては、詳細が決まり次第、病院内や HP、Facebook でご案内しますのでぜひご参加ください!

病気の 豆知識

「蚊にさされることで、うつる病気」

地域医療支援学・准教授 さの ちあき
附属病院院内感染対策チームリーダー 佐野 千晶



夏が近づくと、蚊帳（かや）の中で夜を過ごす方もいらっしゃると思います。近年、蚊にさされることによって起こる感染症が大きな話題となっています。昨年、東京の代々木公園で発症者がみられたデング熱。また今年には、ジカ熱がブラジルで大流行し、日本でも数例報告がみられましたが、妊婦の場合には、その子どもが小頭症になる危険性が指摘されています。デング熱、ジカ熱、日本脳炎は、蚊の体液、唾液中に存在する最小の微生物であるウイルスによって引き起こされる感染症です。予防として、防蚊対策が欠かせません。例えば、流行地域では、肌の露出が少ない服を着る。防虫剤を使用する。蚊帳やエアコン利用により、部屋への蚊の侵入を防ぐ。蚊の幼虫であるボウフラがわからないように、不要な鉢・桶や水たまりを家周囲に作らない等の対策が大切です。発熱・関節痛・発疹等の症状の際には、渡航歴、蚊やダニとの接触歴を医師に伝えて下さい。



私のここだけの話

「わたしの休日」

ひばら ちえ
看護部 副看護部長 日原 千恵



本格的に野菜作りをするきっかけは、2年前に隣家の方から畑を管理してほしいと声をかけられたことでした。それから、野菜作りが、わたしの休日の多くを占めるようになりました。毎週日曜日は朝8時NHKのEテレ「やさいの時間」を見て、テキストと苗と種を買い、畑の野菜達に「1週間の御無沙汰でした」と声をかけ作業を開始します。消毒はせず、ミミズやダンゴムシ、ナメクジや蚊等と戦い共存しながら、時に、近所の方からアドバイスをいただきながら、野菜の成長を手助けしています。現在は夏野菜も植え、25種類の野菜を作っています。その野菜達は、夫と母により料理され、我が家の食卓をにぎやかに飾るようになりました。

金曜日の夕方からは「野菜作りモード」に変わるわたしですが、野菜作りに夢中になることがストレス解消になっています。野菜作りができることに感謝し、この機会に「日原農園」と名付けて、休日を過ごそうと思います。

「看護の日」にイベントを開催しました

ニュース
NEWS & トピックス
TOPICS

皆さんは「看護の日」をご存知でしょうか。これは、国民の間に看護の心、助け合いの心が育つようにと毎年5月12日に制定された日です。この日にちなみ、看護職員主催で昼の部・夜の部の2部構成でイベントを行いました。昼の部は「認定看護師によるハンドマッサージ」、夜の部は「看護職員による音楽会」を開催し、多くの患者さんやご家族の方に参加して頂きました。

写真は男性看護師・女性看護師が一緒になって歌声を披露している場面です。100名を超える観客の手拍子や声援に後押しされて、病院玄関が盛大なコンサートホールになりました。



留学生の
自慢

微生物学
ティミーさん



今回はインドネシアからいらっしゃっているティミーさんに母国の自慢を話していただきました。

インドネシアには、世界一のものがあります。それは、島の数です。1万3千以上の島が存在していて、名前の付いていない島もたくさんあります。

もちろん、観光名所もたくさんありますよ。数ある観光名所の中でも、私のお勧めは、インドネシアの東部、西パプア州にあるラジャ・アンパット諸島です。海洋生物が豊富で、世界中にあるサンゴ礁の種類約7割がこちらで観測できます。そのような環境から、ダイビングスポットとしても人気が高いです。

ラジャ・アンパット諸島はまだ開発途上のため、アクセス面や手頃な宿泊施設などにおいてはバリ島が優勢ですが、近い将来、バリ島と並んでインドネシアの主要観光地になると思います。5月～10月頃の乾季に訪れるのがお勧めです。

ちなみに、ラジャ・アンパットとはインドネシア語で「4人の王」を意味するそうです。(編集者)

イベントなどのお知らせ

島大病院 ちょっと気になる健康講座

島大病院には、専門知識を備えた、医師をはじめとする様々な職種の職員が医療・医事業務に携わっています。

本院に来院される患者さんや一般市民の方への少しばかりのサービス提供事業として、健康や医療に関するミニ講座を定期的に開催していくこととしました。

実施内容は下記のとおりです。



対象 患者さんほか一般市民 場所 外来1階 外来待合ホール
時間 11:00～11:30

回数	月日	担当	講師	テーマ
第130回	7月8日(金)	麻酔科	橋本 龍也	緩和ケア病棟って どんなところ?
第131回	7月14日(木)	歯科口腔外科	辰巳 香澄	お口の病気シリーズ(4)
第132回	7月21日(木)	薬剤部	原 ゆかり	こどもとお薬のはなし
第133回	7月28日(木)	膠原病内科	村川 洋子	膠原病ってどんな病気?
第134回	8月4日(木)	リハビリテーション部	江草 典政	リハビリの専門家に 相談できるあれこれ
第135回	8月12日(金)	脳神経外科	萩原 伸哉	機能神経外科について
第136回	8月18日(木)	神経内科	高吉 宏幸	脳梗塞と予防
第137回	9月1日(木)	整形外科	熊橋 伸之	高齢者の膝の痛み
第138回	9月8日(木)	総合診療科	石橋 豊	動悸(胸がどきどきする)
第139回	9月15日(木)	内分泌代謝内科	清原 信昭	糖尿病 ～食事のとり方について～
第140回	9月29日(木)	眼科	白神 智貴	症状から考える眼の病気

病院ボランティアコンサート 開催予定

- 7月1日(金)19時より
● 出雲交響吹奏楽団 一縁
- 7月29日(金)19時より
● 島根大学 フロー室内楽団
- 9月9日(金)19時より
● 島根大学 邦楽部
- 9月30日(金)19時より
● 出雲楽友協会



開催場所: 附属病院1階
外来待合ホール

島大病院 ちょっと気になる健康講座
放送予定(出雲ケーブルビジョン)

平成28年 呼吸器外科 宮本 信宏 助教
7月放送 テーマ「喫煙と健康被害」

誰でも参加出来る糖尿病教室

場所: 外来中央診療棟3階
「だんだん」

参加費無料!
予約不要です☆

7月25日(月)15時～16時

講演1 知っておきたい! 食物繊維のチカラ
梅木 菜津美 管理栄養士

講演2 眼科専門医による糖尿病網膜症の
おはなし
高井 保幸 眼科専門医

9月26日(月)15時～16時

講演1 災害の備えはできていますか?
田中 沙枝子 看護師(糖尿病療養指導士)

講演2 こんなときどうする?
～シックデイについて～
真鍋 奈緒子 内科医師(内分泌代謝内科)

●その他、無料血糖測定を行います。





島大病院 書籍のご紹介



第2弾 好評発売中!

病気・健康維持のはなしなど

48項目

島大病院・1年分の健康講座を
この1冊にまとめました。

島大病院 ちょっと気になる 健康講座2

Shimane University Hospital Lectures on Health

監修:島根大学医学部附属病院 発売:今井出版
A5判/並製本/154頁/オールカラー 定価:本体 926円+税



島根大学病院の
スタッフがわかり
やすく解説します。

第1弾も
一緒にどうぞ!



お近くの主要書店、インターネットでお買い求めいただけます。ご注文は 今井印刷株式会社 0859-28-5551

島大病院内で無料配布しています!

「病院食のレシピが知りたい」という
入院患者さんからの声を受けて、
1冊のレシピ本を作りました。

かんたん 第1弾 病院レシピ

Hospital Recipe

監修:島根大学医学部附属病院 栄養治療室
B5判/オールカラー 無料



14
レシピ!



編集後記

今回のしろうさぎは「島大病院 — 救急診療の更なる充実 —」の特集で救命救急センター長と高度外傷センター長にインタビューを行い、それぞれの活動状況を伺いました。

また、「病気の豆知識」では、蚊にさされることによって起こる感染症についてお話いただきました。いよいよ夏本番、蚊には十分注意したいですね。夏を乗り切るには、美味しい食事で栄養をしっかりと摂取することも大事だと思います。ページ上方の「かんたん病院レシピ」を是非お手元に置いて、食卓のメニューに加えて頂ければと思います。

次号は10月発行予定です。

【編集者より】



島根大学医学部附属病院広報誌

しろうさぎ
についてのお問い合わせ先



医学部総務課 企画調査係 広報担当

☎ 0853-20-2019

✉ mga-kikaku@office.shimane-u.ac.jp

🌐 <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>